

氏名 森 本 直 樹

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 博 乙 第 2247 号

学 位 授 与 の 日 付 平 成 3 年 3 月 28 日

学 位 授 与 の 要 件 博 士 の 学 位 論 文 提 出 者 (学 位 規 則 第 5 条 第 2 項 該 当)

学 位 論 文 題 目 完 全 全 脳 虚 血 後 の 脳 障 害 に 対 す る ヘ パ リ ン ・ ウ ロ キ ナ ー ゼ 併 用 療 法 の 効 果 に 関 す る 実 験 的 研 究

論 文 審 査 委 員 教 授 西 本 詮 教 授 大 月 三 郎 教 授 佐 伯 清 美

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

雑種成犬31頭を用い、上行大動脈遮断と大動脈・右房・大腿静脈間バイパス法で18分間の完全全脳虚血モデルを作製し、虚血後の脳障害に対するヘパリン・ウロキナーゼ併用療法の効果を循環動態および神経学的予後を指標として検討した。その結果、虚血後のヘパリン・ウロキナーゼ投与によりヘマトクリット値の低下や平均血圧、心拍出量などの循環動態に有意な変動は認められなかったが、虚血後の遅発性脳血流減少状態は有意に改善した。虚血後7日間観察した神経学的予後も有意に良好であった。以上の結果より虚血後のヘパリン・ウロキナーゼ投与は、虚血後の脳障害軽減に有効であると結論した。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は虚血性脳障害に対する抗凝血薬療法について実験的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかったヘパリン・ウロキナーゼ併用療法の効果について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。